

(公財) 日本ハンドボール協会 ユニホームに関するガイドライン

令和3年4月1日

(目的)

- 1 このガイドラインは、国際ハンドボール連盟（以下 IHF という）が定めるユニホーム等の規程に沿って、公益財団法人日本ハンドボール協会（以下 JHA という）の公式戦において競技するプレイヤーのユニホームについて定め、競技運営マニュアル、テクニカルオフィシャルの任務などに引用して使用される。

(定義)

- 2 プレーヤーのユニホームには、シャツ、ショートパンツ、またはゴールキーパーのズボンと靴下が含まれる。
 - 2) プレーヤーのユニホームの下に着用する長袖シャツとコンプレッションショーツを使用する場合は、シャツ/ショートパンツの主な色と同じ色にする必要がある。
 - 3) 選手はスポーツシューズを履く必要がある。
 - 4) チームのすべてのコートプレイヤーは、同一のユニホームを着用する必要がある。
 - 5) 主催者が提供する追跡目的のウェアラブル技術（たとえば、ベスト、胸部ハーネスなど）は、要求があれば、各プレイヤーがシャツの下に着用できる。

(装具)

- 3 プレーヤーが身につけられる装具については、プレーヤーに危険を及ぼす可能性のあるものの着用は許可されない。これには、たとえば、頭の保護、フェイスマスク、ブレスレット、時計、指輪、目に見えるピアス、ネックレスまたはチェーン、イヤリング、拘束バンドのない眼鏡、または頑丈なフレームのある眼鏡、またはその他の危険な物体が含まれる（競技規則4の9、17:3）。

要件を満たしていないプレーヤーは、修正するまで競技に参加できない。

フラットリング、小さなイヤリング、目に見えるピアスは、他のプレーヤーにとって危険であると見なされないようにテープで覆われていれば、許可される。ヘッドバンドは、柔らかく弾力性のある素材でできている限り使用を許可される。

その他、身につけられる装具については「服装や保護を目的とした装具に関する規定」を参照すること。

(ユニホームの色)

4 原則

- 1 つの色がシャツの大部分をはっきりと占める必要がある。蛍光色の使用は許可されていない。
- 2) 1 つのチームのすべてのゴールキーパーは、同じ色のユニホームを着用する必要がある。これは、一時的にゴールキーパーとして役割を担うコートプレイヤーにも当てはまる。色は、両方のチームのコートプレイヤーおよび相手チームのゴールキーパーと区別する必要がある。

(準備すべき数)

- 5 各チームは3つの異なる色の選手のユニホームのセットを所有していることが望ましい。最低限、2つの異なる色の選手のユニホームのセットを所有していなければならない。IHF シニアイベントとオリンピック等では3つの異なる色のセットが必要とされている。
- a) 明るい色のシャツ1セットと明るい色のショートパンツ1セット
 - b) 濃い色のシャツ1セットと濃い色のショートパンツ1セット
 - c) 代替色のシャツ1セット
 - d) ゴールキーパー用の3つの異なる色のシャツ
 - e) 3色のゴールキーパーとして機能するコートプレーヤーのためのシャツ。

また、IHF の若い年齢カテゴリーのイベントでは、各チームは2つの異なる色の選手のユニホームのセットを所有している必要があると定義されている。

- a) 明るい色のシャツ1セットと明るい色のショートパンツ1セット
- b) 濃い色のシャツ1セットと濃い色のショートパンツ1セット
- c) ゴールキーパー用の3つの異なる色のシャツ
- d) 2色のゴールキーパーとして機能するコートプレーヤー用のシャツ。

なお、チームのユニホームセット（該当する場合、優先順に1番目、2番目、3番目のセットとして定義される）がチームリスト（大会プログラム等）に表示されることが望ましい。

(着用の実際)

- 6 各試合では、一方のチームは明るい色のシャツを着用し、もう一方のチームは暗い色のシャツを着用するものとする。2つのチームの色とデザインの組み合わせは、互いに明確に区別できる必要がある。
- 2) 大会のテクニカルミーティングでは、チームは2つまたは3つの異なる色のユニホームのセットを提示する義務がある。
 - 3) 各試合の色の決定は、チームの代表者とレフェリー、MO、TDの参加を得て行われる。色に関して意見の相違がある場合、最初にエントリーされたチーム（試合番号の若いチーム）が色を選択する権利を有する。

(番 号)

- 7 競技規則4の8に規定されているとおり、プレーヤーは、縦が20cm以上の背番号と10cm以上の胸番号をユニホームにつけなければならない。番号は大会規定で定められたものを用いなければならない。
- 2) 背番号は1から99まで使用できる
 - 3) 背番号はユニホームの主となる色と異なる色、明瞭に認識可能な号とする。
 - 4) 「一時的な」ゴールキーパーは、コートプレーヤーとして通常持っている番号のゴールキーパーシャツを着用するか、チームのゴールキーパーシャツと同じで、透明な素材で覆われた穴があり、背番号と胸番号が見えるようすること。





5) 大会を通して、各プレイヤーは、自分のポジション（ゴールキーパーまたはコートプレイヤー）に関係なく、同じ番号を着用する必要がある。

（プレイヤーのユニホームの変更）

8 テクニカルオフィシャルが、2つのチームのユニホームが混乱を引き起こす可能性があると考えた場合、試合スケジュールの番号大きいチームが、良好なコントラストを確保するためにユニホームを変更する必要がある。

さらに、テレビ放送には不都合な場合が考えられるので、両方のチームがすべてのセットを各試合に持ち込む必要がある。

それ以外の場合は、競技本部または現場の役員が選手のユニホームの変更を決定するものとする。

（コート上での公式プレゼンテーション中の選手の服装）

9 試合前の公式プレゼンテーションでは、チームのすべてのプレイヤーがユニホームを着ている必要がある（トラックスーツを着ているすべてのプレイヤー、プレイヤーのユニホームを着たすべてのプレイヤー、または組み合わせたソリューションが可能）。

（ユニホーム広告）

10 ユニホーム広告に関する事項は、JHA が別に定めるユニホームに関する細則を参照すること。

（国民体育（スポーツ）大会ユニホーム規程）

11 国民体育（スポーツ）大会に使用するユニホームについては国民体育（スポーツ）大会のユニホーム規定を順守すること。

12 ガイドラインは、国際連盟の規程が変更された場合、適宜改訂し、常務理事会に報告される。